



# IT食農先導士養成プログラム (最先端土地利用型IT農業コース)

## ◆概要・目的



受講期間: 初年度12月～次年度3月末  
(1年4ヵ月)

募集人数: 5名

応募資格:

- 高等学校卒業以上の学歴を有する方
- 東三河および周辺地域に在住あるいは勤務する方
- IT農業に関心がある方
- 自宅でインターネットに接続できる方

## 事業概要

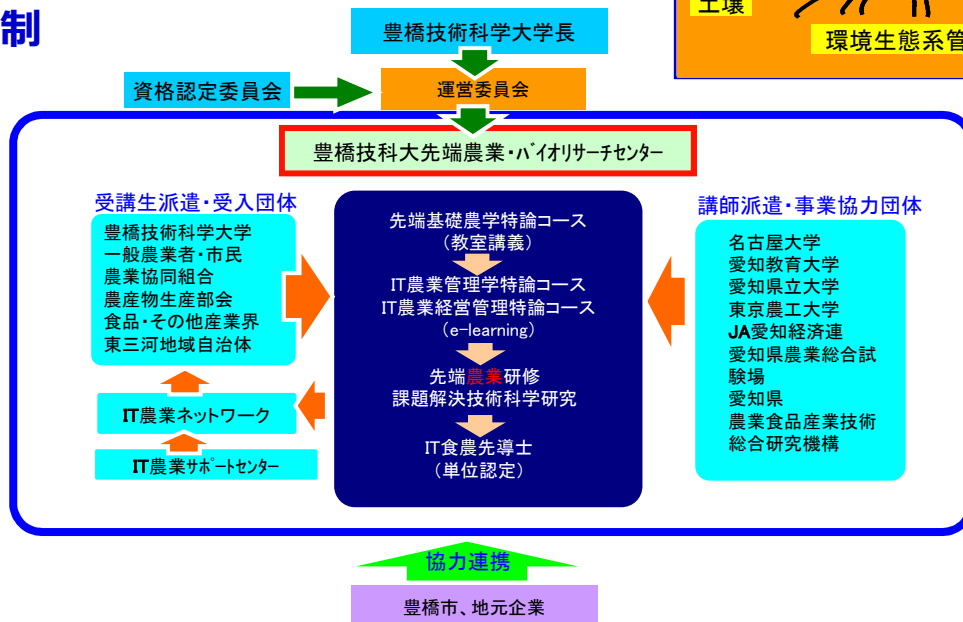
豊橋技術科学大学等において、これまでに蓄積した技術科学的な成果を踏まえて、土地利用型農業において将来地域の担い手となりうる若者等が定着可能な土地利用型農業の管理、経営ができるIT農業人材を育成し、農業と地域の活性化を図る。

豊橋技術科学大学先端農業・バイオリサーチセンターが愛知県と地域自治体の連携のもと、「IT食農先導士養成プログラム(最先端土地利用型IT農業コース)」事業を実施。「IT食農先導士」を養成。

生産環境に左右される農業に、先端的技術科学の情報と工学技術を体系的に導入し、**IT生産管理・IT経営管理**のできる人材



## ◆実施体制



※文部科学省の「職業実践力養成プログラム」(BP)とは、大学等における社会人や企業等のニーズに応じた、実践的・専門的なプログラムを「職業実践力養成プログラム」(BP)として文部科学大臣が認定する制度です。

## ◆受講生のメリット

- ① プログラムの習得により農商工融合分野の最新知識を有する「IT食農先導士」の称号が豊橋技術科学大学から授与される。
- ② 各種**営農資金**などの応募に際し、自治体や地域信用金庫から**積極的な情報提供**が受けられる。
- ③ 「IT農業ネットワーク」の形成によって、連携した営農と地域の中核**農業者**となる。
- ④ 豊橋技術科学大学「IT農業サポートセンター」より**最新のIT情報と農業情報**が提供される。
- ⑤ **農商工連携**、農業の**6次産業化**のノウハウが得られる。



# IT食農先導士養成プログラム (最先端土地利用型IT農業コース)

(受講イメージ)

## 初年度

8月～11月  
広報活動／募集／選考(受講者決定)

12月  
開講式／受講開始

プログラムの工夫：

始めに「教室講義」で農学等の基礎を学びながら、受講生間の連帯感を醸成することで、その後の「e-learning」期間中の孤独感を回避。

12月～3月  
教室講義 毎週土曜日(集中講義)  
◆先端基礎農学特論(6科目)

## 次年度

4月～11月  
E-learning 毎月配信  
◆IT農業管理学特論(6科目)  
◆IT農業経営管理特論(6科目)

1月～11月

先端農業研修

国内5回  
1回当たり  
1～3ヶ所

4月～3月  
課題解決技術科学研究 各自が課題も設けて、調査・研究し、その結果報告を行う。

3月  
研究成果発表会

3月  
資格認定／修了式:履修証明書・称号授与

「IT食農先導士」

IT農業ネットワーク

★修了生がネットワークを形成し、農業及び関連産業を通して地域振興を図る

★大学内に設定するサポートセンターでプログラム修了後も修了生を支援

IT農業サポートセンター

(様式1)

## 職業実践力育成プログラム(BP)への申請について

平成28年10月 6日

①学校名:	豊橋技術科学大学		②所在地:	愛知県豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1		
③課程名:	IT食農先導士養成プログラム(最先端土地利用型IT農業コース)	④正規課程/履修証明プログラム:	履修証明プログラム	⑤開設年月日:	平成28年12月3日	
⑥責任者:	井上隆信(副学長/先端農業・バイオリサーチセンター長)	⑦定員:	5名		⑧期間:	1年4ヵ月
⑨申請する課程の目的・概要:	豊橋技術科学大学等において、これまでに蓄積した技術科学的な成果を踏まえて、土地利用型農業において将来地域の担い手となりうる若者等が定着可能な土地利用型農業の管理、経営ができるIT農業人材を育成する。					
⑩4テーマへの該当の有無	女性活躍、中小企業、地方創生	⑪履修資格:	高等学校卒業程度の学歴を有している人(本学において、同等以上の学力があると認めたと者を含む)			
⑫対象とする職業の種類:	農業・農業関連産業					
⑬身に付けることのできる能力:	(身に付けられる知識、技術、技能) ITを活用した土地利用型農業栽培技術、経営手法、6次産業化手法			(得られる能力) 土地利用型農業のマネジメント能力、科学技術的な思考能力		
⑭教育課程:	圃場一作物栄養診断、IT精密農業論、農業環境計測論等により、土地利用型IT栽培管理技術を修得する。情報管理論、環境経営論、農業マーケティング論等により、IT経営管理手法を修得する。6次産業実践論等により、6次産業化手法を修得する。					
⑮修了要件(修了授業時数等):	全ての科目を修得し、調査研究成果の発表を行い、審査に合格すること					
⑯修了時に付与される学位・資格等:	「履修証明書」交付、「IT食農先導士」称号					
⑰総授業時数:	405時間	⑱要件該当授業時数:	302	該当要件	⑲要件該当授業時数/総授業時数:	75%
⑳成績評価の方法:	各科目においては、中間レポートと最終レポートを提出させ、採点は90点以上をS、80~89点をA、70~79点をB、60~69点をCとし、60点以上の場合に修得したと判定する。先端施設研修は、研修後のレポートにより同様に評価する。課題解決技術科学研究については、研究成果発表を審査し、同様に評価する。					
㉑自己点検・評価の方法:	愛知県、豊橋市、田原市、豊川市、新城市、蒲郡市の関係部局担当者を委員に含む運営委員会において、講義や実施の内容について自己点検するとともに、愛知県東三河総局、東三河広域経済連合会、豊橋市、東三河の高等教育機関等により構成されている社会人キャリアアップ連携協議会において、本プログラム全般について評価を行う。これらの自己点検・評価に加え、稲・野菜・果樹栽培やITなどの専門家による外部評価委員会を設置し、評価を受ける。					
㉒修了者の状況に係る効果検証の方法:	学内に設置するIT農業サポートセンターにおいて、修了生の農業・農業関連産業への従事状況をアンケートや聞き取り等で把握する。					
㉓企業等の意見を取り入れる仕組み:	(教育課程の編成) 愛知県、豊橋市、田原市、豊川市、新城市、蒲郡市の関係部局担当者を委員に含む運営委員会において、講義の内容や実施状況を説明し、意見を聞く機会を年2回設ける。 (自己点検・評価) 愛知県東三河総局、東三河広域経済連合会、豊橋市、東三河の高等教育機関等により構成されている社会人キャリアアップ連携協議会において、本プログラムの実施状況や修了生の動向を説明し、意見を聞く機会を年1回設ける。					
㉔社会人が受講しやすい工夫:	講義のうち1/3を土曜日に開講する教室講義で、2/3をe-ラーニングにより実施している。					
㉕ホームページ:	(URL) <a href="http://www.recab.tut.ac.jp/">http://www.recab.tut.ac.jp/</a>					

(様式2)

## 授業科目の概要について

学校名:	豊橋技術科学大学
課程名:	IT食農先端士養成プログラム(最先端土地利用型IT農業コース)

要件該当授業時数:	302
要件該当授業時数/総授業時数:	302/405

分類	科目名	配当年次	授業時数・単位数	企業等	双方向	実務家	実地	担当教員・実務家名	教員・実務家の所属
必修	土壌植物栄養学		12.5					三枝正彦	豊橋技術科学大学 先端農業・バイオリサーチセンター
必修	植物保護学		12.5			○		三宅律幸	愛知県農業総合試験場
必修	資源植物学		12.5					山内高弘 熊崎 忠	豊橋技術科学大学 先端農業・バイオリサーチセンター
必修	ビジネスプラン論		12.5			○		日野眞明	MORE経営コンサルティング(株)
必修	農業統計学		12.5					山内高弘 李 凱	豊橋技術科学大学 先端農業・バイオリサーチセンター
必修	農業経営学		12.5					竹谷裕之	名古屋産業科学研究所
必修	ほ場－作物栄養診断(施肥論を含む)		5/10			○		平内央紀 三枝正彦 中内茂樹 井上吉雄	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 豊橋技術科学大学 先端農業・バイオリサーチセンター 豊橋技術科学大学 視覚認知情報学研究室 国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構
必修	6次産業実践論(事例紹介を含む)		10			○		加藤寛昭	食と農研究所
必修	IT精密農業論(農業ロボットを含む)		7/10			○		澁澤 栄 梅田幹雄 西村 洋 牧野英二 村田光明	東京農工大学 国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 大島商船高等学校
必修	環境保全型農業論(有機農業論を含む)		10					三枝正彦	豊橋技術科学大学 先端農業・バイオリサーチセンター
必修	バイオマス活用論(コンポスト、エネルギー含む)		10			○		平内央紀	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構
必修	農業環境計測論(農業簿記を含む)		10			○		梅田大樹 房安功太郎 大山克己	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 みのりラボ株式会社
必修	情報管理論		10					入部百合絵	愛知県立大学 情報科学部
必修	環境経営論		10					後藤尚弘 井上隆信	豊橋技術科学大学
必修	知的財産管理		10			○		井川浩文 小西俊春	SANSUI国際特許事務所
必修	農業マーケティング論		10			○		日野眞明 中野和久	MORE経営コンサルティング(株) 地域ビジネス研究所

必修	農業支援政策論(農業法規を含む)		10					竹谷裕之	名古屋産業科学研究所
必修	食農リスク管理論		5/10				○	平石 明 三枝正彦 田中三郎 山本英治	豊橋技術科学大学 豊橋技術科学大学 先端農業・バイオリサーチセンター 豊橋技術科学大学 イノチオアグリ株式会社
必修	先端農業研修		30				○	山内高弘	豊橋技術科学大学 先端農業・バイオリサーチセンター
必修	課題解決技術科学研究		180	○	○	○	○	受入先担当者	豊橋技術科学大学 先端農業・バイオリサーチセンター 受入企業等
合計:	20科目						405		時間

\* 申請する課程で受講可能な全ての科目について記入してください。

\* 「企業等」、「双方向」、「実務家」、「実地」の欄に○を入れた科目については、要件に該当することを明記したシラバスを添付してください。